



## 📷 表紙写真について

我が瀬戸工科高等学校には、『陶芸・陶磁史部』という、県立高校の中でも数少ない、部活動があります。何十台ものロクロがあり、どれも陶芸部や工芸デザイン科の生徒が実習などで使用しています。この何十台の機械は、長年練習に励む陶芸部員達や工芸デザイン科の生徒達を見守ってきました。この写真は、全身全霊で陶芸に打ち込む生徒たちを<sup>あお</sup>り構図<sup>\*</sup>で撮ることで陶芸部員の綺麗に作ろうという気持ちを表現しようと試みたものです。

撮影および文責 ▶ 瀬戸工科高等学校写真部1年生 鈴木 新太郎さん

※下から見上げる構図

P.11に瀬戸工科高等学校の紹介があります

特集 p.2-3

市民と議会との意見交換会  
「せとまちトーク」を  
開催しました!

# せとまちトーク

## 市民と議会の意見交換会を開催しました

「せとまちトーク」は、市民の皆さんのご意見を市政に反映するために開催しています。議会は常に市民と共にあり、皆さんが安心して暮らせるまちづくりに全力で取り組みます。



テーマ

会場の様子

市民の皆さんが考える課題・問題点

総務生活委員会

### ごみの分別

ごみ減量に向けた  
わかりやすい分別  
方法を考える



- ・容器包装プラスチックの排出量が多く、月に2回では不十分。
- ・文化や言葉の違う外国籍の方に分別をどのように認知してもらうのか、また、高齢者への周知や収集に対する配慮が必要。
- ・プラごみをどこまで洗って出したらよいのか分からない。
- ・ごみ置き場が町内に1か所しかなく、狭いため、あふれていて危険。
- ・PR不足である。無関心な人がかなり居るような気がする。

厚生文教委員会

### 元気に 楽しく暮らす

年齢を重ねても心身の  
活力が低下しない  
取り組みを考える



- ・高齢者は情報難民になりがちである。
- ・歯の健康を保つことや友人、仲間を持つことが大切と思う。
- ・高齢者が働ける場所が必要。  
(有償ボランティア)
- ・誰もが気楽に集まれる場所がない。
- ・外出するための移動手段が欲しい。
- ・子どもが増える工夫が必要。

都市活力委員会

### 地域公共交通

市民の安心・安全な  
移動手段を考える



- ・リタイアした高齢者の利用が多いが、そのニーズに対応しきれていない。
- ・免許返納者へのサポートが不十分。
- ・コミュバスは、時間間隔が大きくて利便性が悪いいためか、乗客が少ない。
- ・コミュバスについて、現行ルートを拡大して運行して欲しい。
- ・市費の投入はどこまで可能と考えているか。



せとまちトークへのご参加ありがとうございました。8つの会場で皆さんの意見を聞かせていただきました。どの会場でも、真剣で熱い議論が繰り広げられていました。今後は、各常任委員会で調査研究を進め、市への政策提言等を行っていきます。

※8つの会場で作された意見をまとめたシートや参加者アンケートの結果を市議会のホームページで公開しています。ぜひご覧ください。



## 発表の様子

## 市民の皆さんが考えたアイデア



- SNSなどあらゆる方法を駆使して無関心層や外国籍の方へPRする。
- 住民の意識向上のため、地域で分別講習会等を継続的に開催する。
- 分別に対する市民意識向上のため、町内会等で分別勉強会を開催する。
- 学校カリキュラムに環境教育(ゴミ問題)を組み込む。
- 集積場所については町内に複数箇所増やし、あわせて資源回収センターを複数箇所設置する。また収集については週1回とする。



- 身近な場所で健康づくりができるようにする。
- 子供のうちから地域のイベントに参加してもらう。
- 退職後に近隣等の交流を持てるような仕組みをつくる。
- 行政と市民をつなぐ「ブリッジ人材」を育成する。
- 地域の元気な人たちが便利屋さんとして活躍できるような仕組みをつくる。
- 共働きをしても、地域の中にとけこんでいける地域づくりをする。
- 人が集まれる場所・拠点をつくる。



- 乗車する人の「目的」・「ニーズ」をしっかり把握し、分析し直す。
- 少々乗車料金が高くても必要があれば乗車する。
- デマンド型交通システムを導入する。
- 家の前から乗れるデマンドタクシーを導入する。
- 介護送迎・幼稚園バスなどの空き時間を活用する。
- どこでも乗り降りできるなど、新しい視点から公共交通のあり方を検討する。
- 免許返納者に特典を与える。



# 12月定例会の主な議案の概要と審査内容

## 新しい市指定ごみ袋を購入

**概要** 令和5年9月からのごみ処理費用有料化に向け、新しいごみ袋(燃えるごみ用・燃えないごみ用)各サイズ合計、約1,000万枚を購入します。

**Q** ごみ袋の各サイズの枚数の割合はどのようにして決めたのか伺う。

**A** 既に有料化制度を導入している自治体の販売実績を参考にして購入枚数を決めた。



## 国民健康保険傷病手当金について

**概要** 雇用されている国民健康保険加入者が新型コロナウイルス感染症に感染し、仕事に行けなかった場合に、傷病手当金を支給します。

**Q** 傷病手当金の制度を知らなかった方が、さかのぼって申請できるか、また可能な場合はいつまで、申請できるか伺う。

**A** 傷病手当金の請求は、働くことができなくなった日の翌日から2年までと定められており、制度の始まりである令和2年1月1日以降において、当該事実が発生してから2年経過していなければ申請対象となる。



## 瀬戸市附属機関設置条例の一部改正について

**概要** 子どもの権利を保障するため、子どもの権利擁護委員が設けられます。

**Q** 権利擁護委員は子どもの権利侵害の予防や早期発見の職務を担うのか?

**A** 子どもたちからの相談対応のほかに、関係職員に対して子どもの権利についてレクチャーを行い早期発見につなげる。虐待などについては関係機関と連携して対応し、権利侵害を未然に防ぐ活動を行っていく。

## 瀬戸市土地開発公社が土地を購入します

**概要** 陶土採掘事業が終了し、瀬戸市土地開発公社が磁祖公園用地として購入します。

**Q** なぜ今、この土地を取得しなければならないのか。

**A** この土地は昭和26年に磁祖公園用地として都市計画決定がされており、今回土地所有者から土地買取希望申出書が出されたことを受け、市からの依頼に基づき瀬戸市土地開発公社が先行取得をするもの。



磁祖公園用地の様子

# 12月定例会で何が変わるの？ 私たちの暮らし



## 無料で、HPV(子宮頸がん予防)ワクチン接種が受けられます

国立がん研究センターの統計によれば、2019年に子宮頸がんと診断されたのは、10,879例あり、2020年の死亡者数は、2,887人とされています。国からの通知に基づき、本市でも、その対象となる方には積極的に接種することを進めています。

**対象年齢** 12歳になる年度の初日から16歳になる年度の末日まで

**接種回数** 3回

**接種場所** 瀬戸市・尾張旭市の実施医療機関  
(事前に予約が必要です)

**接種費用** 無料

また、接種機会を逃した方には特例として定期接種の年齢を越えての接種も可能となっています。

詳しくは、瀬戸市健康課母子保健係(0561-85-5090)までお問い合わせください。

## 水無瀬中学校で、特別支援学級の教室を増やします

令和5年度には、現在の2クラスから5クラスとなる予定のため、増加する教室の改修工事やスロープの整備や段差の解消などの工事を行います。

また、校舎や体育館の未改修のトイレについて、バリアフリー化などの改修工事を予定しています。



## 議員研修会を開催しました

令和4年10月11日に外部講師をお迎えし、議員研修を行いました。

第1部は「ハラスメント防止研修」。不快な思いや苦痛等を感じさせる行為であるハラスメントが、近年様々な場面で指摘されています。研修では該当行為やその影響、防止について学びました。

第2部は「ファシリテーション研修」です。会議などを円滑にそして成果が上がるよう進行・支援を担うためのスキルについて模擬演習も行い、どちらの研修も学びや気づきが多く得られました。今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。

また、10月3日には瀬戸・尾張旭・長久手の3市議員研修会として財務省東海財務局総務部の蟹江泰文氏による「アフターコロナにおける地域経済の動きについて」の講義をリモートにて受講しました。



令和4年9月定例会号  
記事の訂正とお詫び

P4の消防新庁舎に関する記事に誤りがありました。【誤】開発公社 ⇒ 【正】瀬戸市土地開発公社  
関係各位にご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

## 12月定例会議案等一覧

### ◆市長提出議案

議案番号	件名	採決結果
第59号議案	瀬戸市勤労青少年ホームの設置および管理に関する条例の廃止について	可決(全会一致)
第60号議案	瀬戸市の議会の議員及び長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例及び瀬戸市の議会の議員及び長の選挙におけるピラの作成の公営に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第61号議案	瀬戸市情報公開・個人情報保護審査会運営条例の制定について	可決(全会一致)
第62号議案	瀬戸市個人情報保護法施行条例の制定について	可決(賛成多数)
第63号議案	瀬戸市行政不服審査関係手数料徴収条例の制定について	可決(全会一致)
第64号議案	瀬戸市行政不服審査会運営条例の制定について	可決(全会一致)
第65号議案	地方公務員法の一部改正等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決(全会一致)
第66号議案	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第67号議案	瀬戸市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第68号議案	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第69号議案	瀬戸市指定ごみ袋の買入れについて	可決(賛成多数)
第70号議案	瀬戸市附属機関設置条例の一部改正について	可決(全会一致)
第71号議案	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第72号議案	瀬戸蔵及び瀬戸蔵ミュージアムに係る指定管理者の指定について	可決(賛成多数)
第73号議案	瀬戸市手数料徴収条例の一部改正について	可決(全会一致)
第74号議案	瀬戸市道路占用料条例の一部改正について	可決(全会一致)
第75号議案	瀬戸市公共用物の管理に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第76号議案	瀬戸市河川管理条例の一部改正について	可決(全会一致)
第77号議案	令和4年度瀬戸市一般会計補正予算(第10号)	可決(賛成多数)
第78号議案	令和4年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第79号議案	令和4年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第80号議案	令和4年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第81号議案	令和4年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第82号議案	令和4年度瀬戸市水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第83号議案	令和4年度瀬戸市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第84号議案	令和4年度瀬戸市一般会計補正予算(第11号)	可決(全会一致)
同意第9号	瀬戸市固定資産評価審査委員会委員の選任について(瀧本 友子 氏)	同意(全会一致)
同意第10号	瀬戸市固定資産評価審査委員会委員の選任について(市野 眞知子 氏)	同意(全会一致)
諮問第2号	人権擁護委員の推薦について(加藤 光昭 氏)	同意(全会一致)
諮問第3号	人権擁護委員の推薦について(畔柳 俊雄 氏)	同意(全会一致)

### ◆請願

議案番号	件名	採決結果
請願第2号	障がい者の生活支援を求める請願	不採択(賛成少数)
請願第3号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願	不採択(賛成少数)

### ◆議員提出議案

議案番号	件名	採決結果
第3号議案	瀬戸市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	可決(賛成多数)
第4号議案	带状疱疹ワクチンへの助成制度の創設を求める意見書	可決(全会一致)

## 各議員の議案・請願に対する賛否の状況

議案・請願のうち賛否の分かれたもののみ記載

議員名 議案番号	自民新政クラブ											公 瀬	明 戸	党 議	日本共産党 瀬戸市議団		無 会	無 会	無 会	無 会	無 会	無 会	無 会	無 会	無 会	
	朝 井	高 島	西 本	小 澤	水 野	宮 園	富 田	柴 田	戸 田	山 田	三 木	長 江	三 宅	池 田	長 江	新 井	浅 井	原 田	松 原	馬 嶋	石 神	中 川	高 桑	白 井	藤 井	伊 藤
第62号議案	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-
第67号議案	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	-
第68号議案	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	-
第69号議案	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	-
第72号議案	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-
第77号議案	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	-
請願第2号	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願第3号	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	-
議員提出第3号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-

【○】は賛成(同意) 【×】は反対(不同意) 議員名は左より会派ごとの議席順に記載。

なお、水野良一議員は議長職のため採決には加わりません。

伊藤賢二議員は、欠席のため採決には加わりません。

## 第3回臨時会(令和4年10月24日)を開催

### 新型コロナウイルス感染症対策にかかる補正予算を可決

#### ▶ 補正予算の主な内容

電気、ガス、食料品等の物価高騰の影響を受け、厳しい状況にある方々を支援します。

#### ● 住民税非課税世帯等を支援

- 1世帯あたり5万円の電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金を支給します。

#### ● 子育て世帯を支援

- 児童手当の対象児童(0歳～15歳)に愛知県子育て世帯臨時特別給付金(1人あたり1万円)を給付します。
- 瀬戸市子育て世帯臨時特別給付金(1人あたり5千円)を0歳～15歳の全児童に給付します。

#### ● 障害者及び高齢者施設、放課後児童クラブ、民間保育所、私立幼稚園等を支援

- 物価高騰対策支援金として1事業者あたり10万円の支援金を支給します。



市の行政課題などについて13人の議員が考え方や内容を質問しました。質問を行った順に、一人ずつ紹介します。



公明党  
瀬戸市議団  
長江 秀幸



## マイナンバーカードの取得促進の取り組みについて

**Q** 本市は、広報せとやホームページでの啓発、商業施設や自治会・公共施設での出張申請などに取り組んでいる。また、交付について予約システムの導入、予約制で平日夜間や土日での交付も実施しているが、現状と今後の取り組みについて伺う。

**A** 8月以降カード申請数は大幅に増加している状況にある。11月中旬から交付窓口を3つ増設し、12月から休日窓口及び平日夜間の交付体制も強化している。加えて、さらなる交付率の向上のため、出張申請の追加の費用を今定例会の補正予算に計上している。  
(市民課)



自民新政クラブ  
小澤 勝



## 小中一貫教育に関するコミュニティ・スクールの取り組みの検証について

**Q** 子どもたちの健全育成を基本とし、心技体の三本の矢を学校運営に活かすためには、保護者そして地域がどう協働、連携していくかが重要と考える。今後、郷土愛の醸成に向けた環境作りやコミュニティ・スクールについての学校・家庭・地域の共通の認識と更なる広報等が必要であるため、協議会メンバーに各地域代表の保護者委員が必要であると考えが、いかがか。

**A** 学校運営協議会には自治会、公民館等、各地区を代表する方が参加し、情報共有や意見交換を行っている。今後も地域の方に教育目標達成に向けた取り組みが広がるよう努めていく。  
(学校教育課)



公明党  
瀬戸市議団  
三宅 聡



## 食品ロス削減のための未利用食品の利活用について

**Q** 食べられず余ってしまった手つかずの食品の中の未利用食品については廃棄を避け、消費者のニーズとマッチさせるフードシェアの活用やフードバンク、子ども食堂への寄付を促す仕組み等を構築すべきと考えるが市の見解を伺う。

**A** 令和4年度から5年度の2か年で、令和6年度から10年間の「一般廃棄物処理基本計画」を策定することとしており、食品ロス削減に関連した具体的な取り組みや仕組みについては、この計画の中に盛り込む「食品ロス削減推進計画」の中で検討していく。(環境課)



日本共産党  
瀬戸市議団  
浅井 寿美



## 公民館等の充実と地域コミュニティについて

**Q** 公民館の貸館時間は9時から21時であるが、事務協力員の配置は基本的に4時間となっている。公民館運営協議会からの陳情を踏まえ、14館中4館をモデル館として8時間配置としているが、市民への公平性の担保、活動実績を考慮し、希望する公民館は事務協力員の配置を拡充すべきではないか。また自治会に対する行政協力業務はそれらの必要性等について調査すべきではないか。

**A** 事務協力員については、実情を踏まえ公民館運営協議会で協議していく必要があると認識している。自治会の負担軽減については議論の必要性を含めて考えていく。(まちづくり協働課)



会議の様子は、会議録や録画映像で  
ご覧になれます。



Q 市議の質問

A 市の回答



日本共産党  
瀬戸市議団  
新井 亜由美



## コミュバスの充実で免許の有無に関係なく安心して暮らせるまちに

**Q** コミュバスの役割である生活に欠かせない施設への移動を確保するには、下半田川・曾野線を毎日運行にする等、既存路線や新規路線の拡充が必要と考える。また、利用者を増やすために利用者と一緒にコミュバスに乗り地域の事情やニーズを掴むことが必要と考えるが見解を伺う。

**A** 下半田川・曾野線は利用者数を考慮し現時点で毎日運行の予定はない。既存路線は収支率を踏まえた効率・効果的な運行を、新規路線は持続可能なコミュバスとして慎重に検討すべきと考えている。機会を捉えてコミュバスに乗り、より効果的な公共交通について啓発提案できるよう努める。  
(都市計画課)



公明党  
瀬戸市議団  
池田 信子



## 出産・子育て応援交付金について

**Q** 交付金の目的である、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てできるよう、伴走型支援の充実とその実効性をより高めるための経済的支援の一体的な実施が円滑に進むよう願う。市独自の対象幅を広げていくことも必要と考える。どのように事業を進めていくのか。意気込みを伺う。

**A** 既に行っている妊婦、子育て家庭への支援体制や国等の動向を踏まえ、早急に対応していく。市独自の支援策については、今後調整していく。妊娠期から産後期、子育て期まで、切れ目ない支援事業を積極的に行い、きめ細かい寄り添った支援を行っていく。(健康課)



無党派  
石神 栄治



## 公立学校施設の長寿命化改良工事などについて

**Q** 菱野団地の分離型小中一貫校となる八幡小学校及び光陵中学校、瀬戸特別支援学校の長寿命化改良工事に係る課題と財源確保について伺う。

**A** 学校施設の長寿命化改良工事は新しい時代の学びに対応した教育環境の向上と老朽化対策を一体的に推進する。特に菱野団地は、適正規模・適正配置の取り組みによる学校再編に伴うものであることや、第6次瀬戸市総合計画、菱野団地再生計画などを踏まえ、まちづくりに寄与する魅力のある学校づくりを行うことが課題であり、財源は市費負担だけでなく適切な時期に国や県などに対し支援の要請を行っていく。(教育政策課)



自民新政クラブ  
西本 潤



## 「ヘルプマーク」の適正な利用について

**Q** 本市では「ヘルプマーク」を配付する際に身体障害者手帳や医師の診断書の提示を求めておらず、誰でも手軽に入手できるため、「ヘルプマーク」の必要のない方の不適切な利用が心配されている。配付の際は手帳、診断書の提示、これを持たない方には状態の聞き取りなどを行うべきであると考えているがいかがか。

**A** 「ヘルプマーク」は、障害者手帳の有無にかかわらず、必要な方には利用していただけるものであり、手帳などの提示は求めていない。利用者にとって大切なマークであることを周知することで不適切な利用を抑止できると考える。  
(社会福祉課)

会議の様子は、会議録や録画映像で  
ご覧になれます。



Q 市議の質問

A 市の回答



無会派  
馬嶋 みゆき



## 保育所施設整備について

**Q** 本市には休園中の保育所が2か所ある。もともと保育園であることからスペースは十分に確保できており、公立・民営問わず活用がしやすいと考える。保育所施設整備を進めていく上で、休園中の土地を有効活用していくことも含め、施設の適正配置を検討していくべきと考えるが見解を伺う。

**A** 市内の未就学児の人口動態や待機児童の発生状況などを注視し、現在休園中の保育所も含めた、市全体の公共施設の適正配置を考えたい。(保育課)



無会派  
松原 大介



## プラスチック製容器包装の収集日を月2回から週1回に増やしましょう

**Q** プラスチック製容器包装の収集日を週1回に増やし、収集場所を資源物置場から燃えるごみ置場に変更しようとした場合、どのような課題があるのか。またごみ処理費用有料化制度を導入することからも実施すべきではないか。

**A** 収集回数や場所を変更した場合、収集箇所が約5倍となり、収集運搬体制の再構築が不可欠となる。また、収集効率の悪化や、経費・作業工程の増加が懸念される。実績を重ねた上で、課題・効果を検証するとともに、市民の皆様、事業者の声を十分に聞き取り、市民の皆様がより出しやすい効果的な収集方法を模索していく。(環境課)



無会派  
白井 淳



## 公文書の適正な管理の改善はどう図られているのか

**Q** 情報公開・個人情報保護審査会から、適切な公文書の作成・管理、情報公開に係る体制整備について出された補足意見の原因をどう考えているか。また、同審査会では、意思形成や決定過程について文書を作成し記録を残す必要があると問題を指摘されているが、どのような改善策を図っているのか。

**A** 公文書の妥当性の検討や判断の誤り、組織内での情報共有不足が原因と考えている。また、文書取扱規程の制度改正を周知するための研修や職員の事務水準を向上させるための研修において、記録に残すことの重要性を伝えることで、改善を図っている。(行政課)



日本共産党  
瀬戸市議団  
原田 学



## 持続可能な地域経済にとってインボイスの導入は中止すべき

**Q** 令和5年10月からインボイス制度が導入されると産直農家は農協への農産物の手数料の値上げの可能性もあるとされ、「地産地消」の農業政策も影響を受ける。それは学校給食の産直野菜の入荷にも影響が出る。しかし収入の少ない産直農家は課税業者にもなれず、取引から排除されかねない。そこで市としてインボイス制度の中止を国に求めるべきであるが見解を求める。

**A** インボイス制度は、軽減税率により複数の消費税率で取引が行われる中、仕入税額控除を正確かつ効率的に行えるよう国が採用した制度で、国に対し導入中止を求める考えはない。(財政課)



無党派  
中川 昌也



## 子どもを守る施策と子育てしやすいまちの実現について

**Q** 現状の子育て世帯に対する生活支援が不足しており、地域振興券などを交付する市独自の対策を速やかに行う必要があると考えるが見解を伺う。また、保育園での使用済みオムツの持ち帰りについて、全国的にも廃止している自治体が増加しているが、瀬戸市は、今後どのようにしていくのか。

**A** 子育て世帯をはじめ、長期化する感染症や原油価格・物価高騰などの影響を受けている方々に対する支援は速やかに行う必要があると考えており、市独自の施策・事業を実施している。保育園での使用済みオムツの持ち帰りについては、全国的にも注目されており、本市においても官民連携の下、研究を始めている。  
(政策推進課・保育課)

## 委員会活動レポート

### 総務生活委員会では「ごみ減量」について調査研究を進めています

総務生活委員会では10月4日(火)、愛知県半田市及び知多南部広域環境センター(2市3町で設置している処理施設)である「ゆめくりん」を視察しました。半田市は令和3年4月、ごみ袋の有料化を開始しましたが、「市民の資源分別意識が高まり、ごみの減量ができた」との説明を受けました。

また令和4年3月に完成した「ゆめくりん」ではごみの燃焼規模に対する発電能力が高いこと、また設計・建築と運営を一体で委託するDBO方式について学びました。



議会だよりの表紙の写真を提供していただいた

## 瀬戸工科高等学校を紹介します

愛知県立瀬戸工科高等学校は、明治28年に瀬戸陶器学校として開校し、瀬戸窯業高校を経て今年度127年を迎えた伝統校です。

※あいよう  
正門から続く愛窯坂を登る途中にも緑がたくさんあり、自然豊かな環境の中で陶芸やデザイン、ものづくり(工業)に関するさまざまな知識や技術を学ぶことができます。

夜間定時制や、全国でも数少ない専攻科もあり校内はたいへん賑やかです。10月に行われた愛窯祭(体育祭・文化祭)も大変盛り上がりがありました。今後も陶都瀬戸の歴史と伝統を受け継いでいける学校でありたいと思っています。

※あいよう  
※愛窯とは愛知県立瀬戸窯業高等学校の名前を由来とする、卒業生や在校生に親しまれている愛称です。



マシニングセンタ実習の様子



あいよう  
愛窯祭(文化祭)・PTAバザーの様子



テレビ番組

グリーンシティケーブルテレビ

12月定例会の番組内容は  
①議決された議案のその後  
②3常任委員会の視察  
③12月定例会の結果報告  
についてお送りしました。



番組が  
ご覧になれます。

「こんにちは！瀬戸市議会です。」  
(地上デジタル121ch)

3月定例会放送予定  
4月24日(月)から4月30日(日)まで  
放送時間

(7:10～、9:10～、12:10～、  
18:10～、20:10～、22:10～)

※放送時間が変更となる場合が  
あります。詳しくはグリーンシ  
ティケーブルテレビから配布さ  
れる番組表をご覧ください。



傍聴

傍聴をご希望の方は、  
北庁舎5階の議会事務局  
にお越しください。



ラジオ番組

RADIO SANQ

「せとまちラジオ」(FM 84.5MHz)  
3月定例会放送予定 2月14日(火) 3月28日(火)  
放送時間 (9:20～、12:30～、18:00～)



放送の前半は定例会のお知らせ、後半では瀬戸市  
の未来像について議員が語るコーナーがあります。  
どんな思いが語られるのかどうぞ楽しみに。

RADIO SANQ ホームページから過去  
の放送分もお聴きいただけます。



インターネット中継

会議の様子をライブ配信  
(生中継)・録画配信して  
います。ホームページから  
アクセスしてください。



3月定例会開催予定

- 2月14日(火) 本会議(開会・予算大綱説明)
- 2月28日(火) 本会議(議案上程・説明)
- 3月3日(金) 本会議(代表質問)
- 3月6日(月) 本会議(代表質問・一般質問)
- 3月7日(火) 本会議(一般質問)
- 3月8日(水) 本会議(一般質問)
- 3月9日(木) 本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)  
終了後 予算決算委員会

- 3月13日(月) 総務生活委員会  
終了後 予算決算委員会 総務生活分科会
- 3月14日(火) 厚生文教委員会  
終了後 予算決算委員会 厚生文教分科会
- 3月15日(水) 都市活力委員会  
終了後 予算決算委員会 都市活力分科会
- 3月17日(金) 予算決算委員会 終了後 議会運営委員会
- 3月22日(水) 議会運営委員会
- 3月23日(木) 本会議(委員長報告・討論・採決・閉会)

※いずれも、午前10時から(3月7日、8日は午後1時から)の開催予定ですが、議事進行により日程が変更される場合があります。  
※会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継でご覧いただくことができます。  
※請願・陳情の提出締切日は、2月3日(金)の午後5時です。

瀬戸市議会ホームページ  
SNS、YouTubeをチェック!



アプリでも  
議会だよりをチェック!



編集  
後記

昨年11月に8つの会場で開催した、「せとまち  
トーク」では、市民の皆さまの関心が高く、各委員  
会の研究事項でもある3つのテーマについて、意  
見をいただきました。特集では課題・問題点や解  
決策としてまとめたものを掲載しました。この号

が発行されるのは、2月になりますが年度末に向  
け卒業式等、年次の移る時期です。編集担当一  
同、市民の皆様のご支援に感謝を申し上げますと  
ともに、残る在任期間も議会としての目線で市  
政情報の提供に努めてまいります。